教科・科目	【美術Ⅰ】	単位数　：　２単位 履修年次：　１年次
目標	美術の幅広い活動を通して，造形的な見方・考え方を働かせ，美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を育成することを目指す。	
教材	高校生の美術Ⅰ（日本文教出版）	
学習方法	学習方法（留意事項） 授業は、絵画や立体造形の実技が中心の科目です。単元ごとに目標を定め、自己評価や反省を繰り返すことで、着実に技能を習得していけるよう積極的に授業に参加してください。また、技能や表現力をより高めるためには、各種道具の正しい使用方法を理解しつつ、色彩に関わる知識の修得や応用力が必要です。ワークシート等を丁寧に記入し、配付されたプリントや設計図はフラットファイル等にまとめるよう心がけて下さい。欠席すると作業の遅れが顕著になる科目ですので気をつけましょう。	

●［評価規準・評価方法・めざす資質と能力］

評価の観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ・意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるよう必要な技能を身につけ、絵画、彫刻、ﾃﾞｻﾞｲﾝなどで表している。	造形的な良さや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識を持って美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。
評価方法	小テスト 作品評価	エスキース 作品評価	授業態度 レポート
麻高ＧＰ			

●［学習計画］

学期	月	学習内容	評価方法
前期	4 月～ 5 月	デッサン（陰影の基礎）	作品制作 レポート
	6 月～ 9 月	色彩学習（色彩の基礎） 絵画１（油彩・静物画）	小テスト 作品製作・レポート
後期	10 月～ 12 月	彫刻（木材彫刻）	エスキース 作品製作・レポート
	12 月～ 3 月	絵画２（油彩・色面構成）	エスキース 作品製作・レポート

●［評価基準］

	作品	小テスト	提出物	３観点別評価点小計	学期末・年度末の観点別学習状況の評価	学期末・年度末の評定
知識・技能	０～２５	０～１０	０～５	０～４０	Ａ　～　Ｃ	５　～　１
思考力・判断力・表現力	０～２５	０～１０	０～５	０～４０	Ａ　～　Ｃ	
主体的に学習に取り組む態度	０～７	０～７	０～６	０～２０	Ａ　～　Ｃ	

評価の内容	評価
「十分満足できる」状況と判断されたもの	A
「おおむね満足できる」状況と判断されたもの	B
「努力を要する」状況と判断されたもの	C

評定の内容	評価（ABC）の組み合わせ	評定
「十分満足できるもののうち、特に程度が高い」状況と判断されたもの	AAA,AAB	5
「十分満足できる」状況と判断されたもの	AAB,AAC,ABB,ABC,BBB	4
「おおむね満足できる」状況と判断されたもの	ABC,BBB,BBC,ACC,BCC	3
「努力を要する」状況と判断されたもの	ACC,BBC,BCC,CCC	2
「努力を要すると判断されたもののうち、特に程度が低い」状況と判断されたもの	CCC	1